

## 芦生研究林での林道の車両通行の注意点

2023.5.8 芦生研究林

芦生研究林内の林道の車両通行に際し、以下に掲げる注意点やリスクがあります。

- ・研究林林道は未舗装路です。一般道のようにガードレールがありません。加えて林道の左右の法面の多くが急斜面になっています。
- ・急な勾配の坂道や、長い下り坂があります。
- ・カーブミラーが無く、見通しの悪いカーブがあります。カーブも急で危険です。
- ・幅員が狭いところがあります。
- ・落石や落枝、素掘りの横断溝などの段差があり、パンクや車体下部が損傷するリスクがあります。
- ・季節や天候により、水溜まりやぬかるみ、落ち葉があり、滑り、スタック、ハンドルが取られる等が発生する可能性があります。
- ・倒木で林道が塞がれている、枝が垂れ下がっているなど通行を妨げている場合があります。
- ・ニホンジカやイノシシなど動物が飛び出す可能性があります。衝突した場合、車が大きく損傷することがあります。
- ・研究林内は一般のハイカー、ガイドツアー参加者、他の研究者、技術職員等多くの利用者が林道上や林道脇の見えにくい場所に立っている可能性があります。また、これらの利用者の車両やバスが通行しています。
- ・研究林内の事故について、加入している自動車保険の内容によっては保険適用されない可能性があります。

これらの点に留意し、通行の際は、以下の点を守ってください。

- (1) 危険な点を理解し、慎重な運転をする。慎重な運転とは、万が一の事象に備えて運転することを指します。
- (2) 余裕を持って止まれるスピードで走行する。林道の制限速度は時速 25 km です。ただし、場所と状況に応じて、車両が直ちに停止することができるような速度で慎重に通行する。
- (3) 路肩に寄りすぎないように通行する。
- (4) 急発進、急加速、急ハンドル、急ブレーキ、急停車など、急な操作は行わない。
- (5) 他の車と離合の際は、事前に広い箇所まで待って相手を通行させてください。無理に狭い箇所まで離合すると、路肩が不安定なため、脱輪や接触の原因となります。また、降雨後は特に路面や路肩が不安定なため、路肩に寄り過ぎないようにご注意ください。その際、離合できる広い箇所まで長い距離をバックする必要がある場合もあります。
- (6) 落石や落枝がある場合は、その都度停車し、林道脇に除去してから通行ください。除去が難しい場合は引き返して、速やかに芦生研究林に連絡してください。

- (7) 段差を通行する際は少し手前から徐行し、サスペンションがあまり沈まないように緩やかに超えてください。
- (8) 停車・駐車は頭上が開いた広い箇所や、法面から離れた場所、対向車がきたときに離合できる場所を選んでください。樹下の落枝や山側の法面から落石の可能性があります。
- (9) 林道法面に動物がいる場合は、動物が動く時に、落石が起こる可能性があります。落石がないことを注意・確認してから通行してください。
- (10) 下り坂ではブレーキを踏み続けることで生じるブレーキパッドの温度上昇(通称焼き付き)に注意し運転してください。例えば、ギアを2速に入れるなど、エンジブレーキを効かせてゆっくり通行してください。場合によっては、途中で一時停車し10分程度ブレーキを冷却してください。
- (11) 木漏れ日などの光の明暗が激しくある場合は、サンバイザーやサングラスを活用してください。
- (12) 通行人や他の車両に早く気づけるように、サイドミラーやバックミラーで周囲を確認し、可能であれば窓を開けて周囲の音や声を聞いて下さい。
- (13) パンク等のトラブルや事故が起こった場合の対処方法(スペアタイヤなど)や行動を事前に準備・確認しておいてください。芦生研究林は車両のトラブルには対応いたしかねます。JAF等を利用してください。JAF等に連絡する場合は、携帯電話の電波が通じる場所まで歩いて移動する必要があります(JAFはチェーンゲートの鍵を持っていませんので、チェーンゲートを開ける必要もあります)。